

(様式2)

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	鈴木公啓 (すずきともひろ)	所属	東洋大学
研究集会等名称	よそおい・しぐさ研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 のべ12名 (うち認定心理士 0名) 非会員 のべ26名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載)</p> <p>本研究集会は、よそおい (装い・粧い) やしぐさ、ふるまい、等、広い範囲の外見と評価に関するテーマについて検討することを目的としている。</p> <p>2009年度は3回の研究会を実施した。</p> <p>■第6回「文化人類学からみた装い」 日時：2009年06月27日(土) 18時から19時30分 会場：聖心女子大学 話す人：余語琢磨 (早稲田大学)・菅原健介 (聖心女子大学) 参加者数：13名 (うち会員6名、認定心理士0名)</p> <p>■第7回「コスメの時間論」 日時 2009年12月12日(土) 15:00~18:00 会場 京都大学 話す人 米澤泉 (甲南女子大学)・木戸彩恵 (京都大学) 参加人数：12名 (うち会員5人、認定心理士0名)</p> <p>■第8回「よそおい修士論文の現在」 日時 2010年2月27日(土)14時-17時30分 会場 京都大学 話す人：中川由理(関西大学)・片岡曜(立命館大学)・山下真衣(立命館大学)・市川(向川)祥子(神戸大学)・鈴木公啓(東洋大学) 参加人数：13名 (うち会員5人、認定心理士0名)</p> <p>すべて公開企画であり、他分野の研究者も含め、関連研究を紹介・共有する上で一定程度の成果が得られたと考えられる。今後も地道に活動を続ける中で、本領域が、心理学全体に提供できる知識を蓄積していくことを目指す。</p>		